

平成 27 年名古屋港港湾統計速報

(概況)

入港船舶は 33,303 隻(前年比 0.2%増)、総トン数は 2 億 3,466 万トン(同 1.2%増)と、隻数、総トン数ともに前年実績を上回った。

総取扱貨物量は 1 億 9,795 万トン(同 4.7%減)と前年実績を下回ったが、平成 14 年から 14 年連続で全国 1 位となる見込みである。

貨物量のうち、外貿貨物は、輸出では完成自動車、自動車部品等の減少により 5,524 万トン、輸入では LNG(液化天然ガス)、鉄鉱石等の減少により 7,576 万トンとなり、全体では 1 億 3,099 万トン(同 5.2%減)と前年実績を下回った。

また、内貿貨物は、移入では 3,175 万トン(同 0.3%増)と増加したが、移出では 3,520 万トン(同 6.8%減)と減少し、全体では 6,695 万トン(同 3.6%減)と前年実績を下回った。

外貿貨物のうちコンテナ貨物は、輸出では自動車部品等の減少により 2,281 万トン(同 3.0%減)、輸入では衣服・身廻品・はきもの、自動車部品等の減少により 2,402 万トン(同 4.2%減)とともに前年実績を下回った。

また、コンテナ取扱個数は、外貿コンテナが 247 万 TEU(同 4.0%減)と減少し、外内貿合わせて 263 万 TEU(同 3.9%減)と前年実績を下回った。

外貿貨物の国別取扱貨物量は、輸出では中国が完成自動車、鋼材等の減少により 609 万トン(同 2.9%減)と減少したが、第 1 位(9 年連続)となった。アラブ首長国は完成自動車等の増加により、496 万トン(同 3.4%増)と第 2 位となり、アメリカは自動車部品等の減少により、404 万トン(同 9.5%減)で第 3 位となった。この他、オマーンが完成自動車等の減少により 373 万トン(同 10.1%減)で第 4 位、タイが 236 万トン(同 3.4%減)で第 5 位となった。

一方、輸入では、第 1 位のオーストラリアが鉄鉱石、石炭等の減少により 1,308 万トン(同 7.4%減)、第 2 位の中国は衣類・身廻品・はきもの、家具装備品等の減少により 1,127 万トン(同 5.7%減)、第 3 位のカタールは LNG(液化天然ガス)等の減少により 759 万トン(同 23.5%減)となった。この他、アメリカが 470 万トン(同 4.1%減)で第 4 位、サウジアラビアが 443 万トン(同 4.5%減)で第 5 位となった。

<問合せ先>

名古屋港管理組合企画調整室統計センター
担当：北村、久米 (TEL:654-8019 <内線 2923>)

平成 27 年 港湾統計

(単位：隻・総トン)

入港船舶	平成 27 年		平成 26 年		前年比 (%)	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
総 数	33,303	234,660,145	33,229	231,879,344	100.2	101.2
外航船舶	8,006	195,175,858	8,130	192,471,034	98.5	101.4
内数 コンテナ船	4,009	93,608,690	3,926	88,537,831	102.1	105.7
内航船舶	25,297	39,484,287	25,099	39,408,310	100.8	100.2

(単位：トン・TEU・台)

取扱貨物量		数 量	数 量	前年比 (%)	
総 数		197,947,276	207,621,287	95.3	
外 貿	計	130,994,398	138,184,336	94.8	
	輸出	55,236,206	57,694,254	95.7	
	輸入	75,758,192	80,490,082	94.1	
	計	66,952,878	69,436,951	96.4	
内 貿	移出	35,200,005	37,764,352	93.2	
	移入	31,752,873	31,672,599	100.3	
	計	47,490,467	49,350,998	96.2	
コンテナ計	トン数	輸移出	23,223,430	23,949,526	97.0
		輸移入	24,267,037	25,401,472	95.5
		計	2,630,804	2,738,244	96.1
	個数	輸移出	1,321,249	1,376,402	96.0
		輸移入	1,309,555	1,361,842	96.2
		計	46,837,698	48,598,942	96.4
外貿コンテナ	トン数	輸出	22,814,527	23,522,491	97.0
		輸入	24,023,171	25,076,451	95.8
		計	2,466,272	2,569,320	96.0
	個数	輸出	1,286,964	1,339,584	96.1
		輸入	1,179,308	1,229,736	95.9
		計	652,769	752,056	86.8
内貿コンテナ	トン数	移出	408,903	427,035	95.8
		移入	243,866	325,021	75.0
		計	164,532	168,924	97.4
	個数	移出	34,286	36,818	93.1
		移入	130,246	132,106	98.6
		計	19,433	20,017	97.1
フェリー貨物 (内貿内数)	一般乗用車 (台)	移出	9,393	9,871	95.2
		移入	10,040	10,146	99.0
		計	37,580	38,727	97.0
	一般貨物車 (台)	移出	19,328	19,299	100.2
		移入	18,252	19,428	93.9
		計	359,620	377,910	95.2
その他貨物	移出	237,080	246,800	96.1	
	移入	122,540	131,110	93.5	

外貿主要上位品種取扱貨物表

(単位：トン・%)

輸 出			輸 入		
品 種	トン数	前年比	品 種	トン数	前年比
合 計	55,236,206	95.7%	合 計	75,758,192	94.1%
完成自動車	29,615,842	94.8%	LNG(液化天然ガス)	17,103,705	91.9%
自動車部品	9,113,315	93.9%	鉄鉱石	10,271,905	91.0%
産業機械	2,750,830	99.5%	原油	8,963,885	100.5%
鋼材	2,308,894	99.9%	石炭	4,972,762	87.1%
ゴム製品	1,475,399	99.4%	衣服・身廻品・はきもの	2,773,168	93.2%
その他	9,971,926	98.0%	その他	31,672,767	96.0%

外貿主要上位国取扱貨物表

(単位：トン・%)

輸 出			輸 入		
国・地域名	トン数	前年比	国・地域名	トン数	前年比
合 計	55,236,206	95.7%	合 計	75,758,192	94.1%
中国	6,091,528	97.1%	オーストラリア	13,078,944	92.6%
アラブ首長国	4,959,795	103.4%	中国	11,265,239	94.3%
アメリカ	4,042,158	90.5%	カタール	7,594,727	76.5%
オマーン	3,731,136	89.9%	アメリカ	4,704,436	95.9%
タイ	2,362,335	96.6%	サウジアラビア	4,426,029	95.5%
その他	34,049,254	95.8%	その他	34,688,817	99.2%

内貿主要上位品種取扱貨物表

(単位：トン・%)

移 出			移 入		
品 種	トン数	前年比	品 種	トン数	前年比
合 計	35,200,005	93.2%	合 計	31,752,873	100.3%
完成自動車	22,358,400	89.9%	完成自動車	13,911,897	98.1%
石油製品	3,154,424	123.7%	鋼材	4,733,168	95.2%
鉄鋼	1,316,756	88.6%	石油製品	2,816,721	112.4%
重油	1,237,570	109.6%	セメント	1,628,646	97.5%
鋼材	1,162,431	90.4%	化学薬品	1,558,328	102.7%
その他	5,970,424	92.8%	その他	7,104,113	104.2%

内貿主要上位港取扱貨物表

(単位：トン・%)

移 出			移 入		
港 名	トン数	前年比	港 名	トン数	前年比
合 計	35,200,005	93.2%	合 計	31,752,873	100.3%
仙台塩釜	7,177,669	93.3%	仙台塩釜	3,686,883	92.2%
苫小牧	5,347,193	90.7%	中津	3,615,040	115.7%
千葉	4,043,308	93.4%	水島	2,766,021	87.9%
川崎	3,192,725	102.1%	苫小牧	2,243,062	97.6%
北九州(門司)	1,910,456	85.5%	四日市	2,172,245	100.9%
その他	13,528,654	93.4%	その他	17,269,622	101.9%

外貿コンテナ主要上位品種取扱貨物表

(単位：トン・%)

輸 出			輸 入		
品 種	トン数	前年比	品 種	トン数	前年比
合 計	22,814,527	97.0%	合 計	24,023,171	95.8%
自動車部品	9,107,405	93.9%	衣服・身廻品・はきもの	2,773,168	93.2%
産業機械	2,335,642	100.3%	自動車部品	2,296,056	97.6%
ゴム製品	1,475,399	99.4%	輸送用容器	2,000,969	102.2%
完成自動車	1,439,867	91.2%	家具装備品	1,765,526	90.1%
その他化学工業品	1,280,671	94.2%	電気機械	1,669,733	103.1%
その他	7,175,543	101.5%	その他	13,517,719	95.1%

外貿コンテナ主要上位国取扱貨物表

(単位：トン・%)

輸 出			輸 入		
国・地域名	トン数	前年比	国・地域名	トン数	前年比
合 計	22,814,527	97.0%	合 計	24,023,171	95.8%
中国	4,977,812	98.8%	中国	10,556,753	95.4%
アメリカ	3,269,316	91.8%	アメリカ	1,746,092	96.0%
タイ	1,719,568	97.8%	タイ	1,443,808	93.3%
台湾	1,034,984	101.8%	中国(ホンコン)	1,272,803	80.9%
中国(ホンコン)	1,004,119	93.1%	ベトナム	1,227,073	117.0%
その他	10,808,728	97.6%	その他	7,776,642	97.0%

内貿コンテナ主要上位品種取扱貨物表

(単位：トン・%)

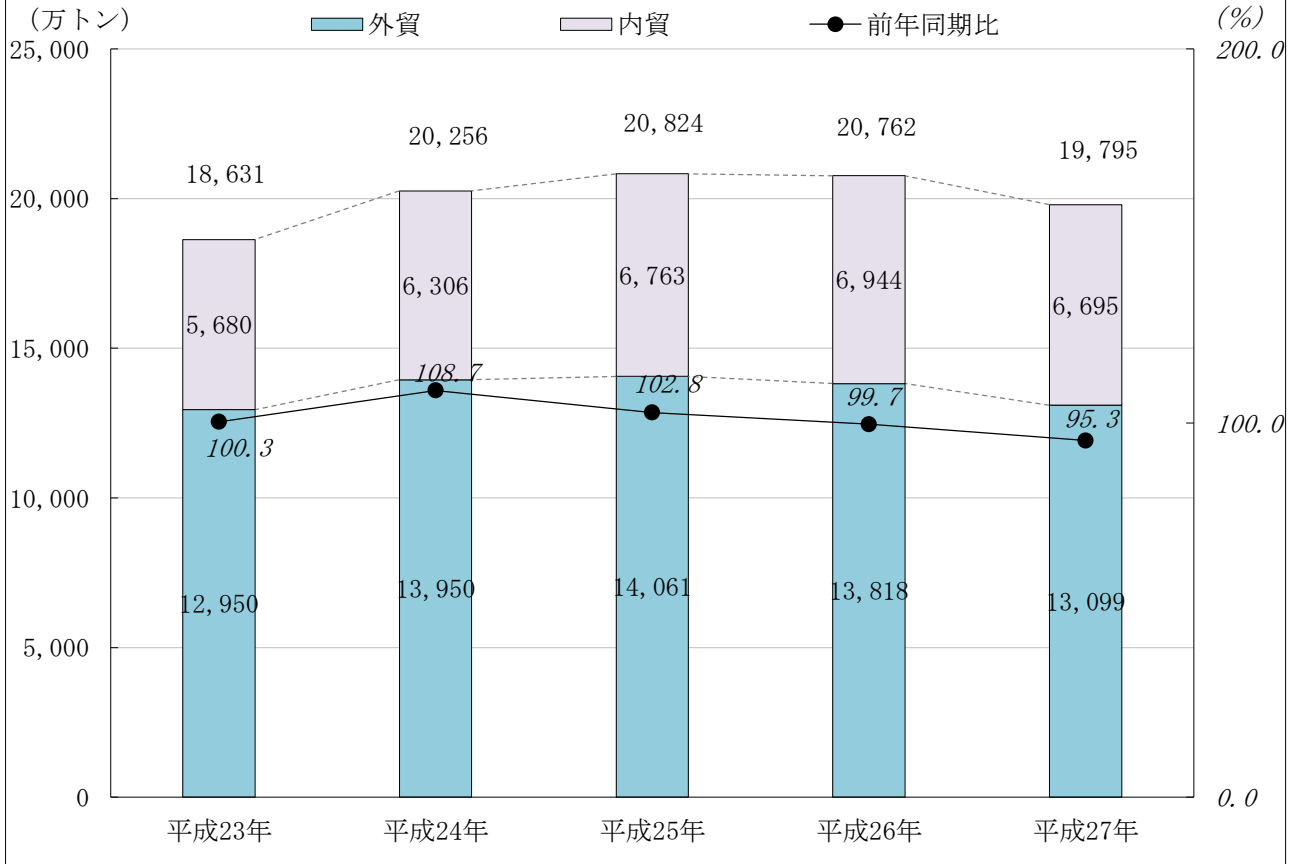
移 出			移 入		
品 種	トン数	前年比	品 種	トン数	前年比
合 計	408,903	95.8%	合 計	243,866	75.0%
自動車部品	339,428	94.6%	自動車部品	136,847	76.3%
家具装備品	60,060	107.4%	輸送用容器	19,690	74.0%
その他化学工業品	1,782	378.3%	動植物性製造飼肥料	16,056	48.1%
産業機械	1,635	56.0%	製造食品	9,639	199.9%
輸送用容器	1,209	72.1%	その他化学工業品	7,276	106.8%
その他	4,789	67.8%	その他	54,358	73.3%

内貿コンテナ主要上位港取扱貨物表

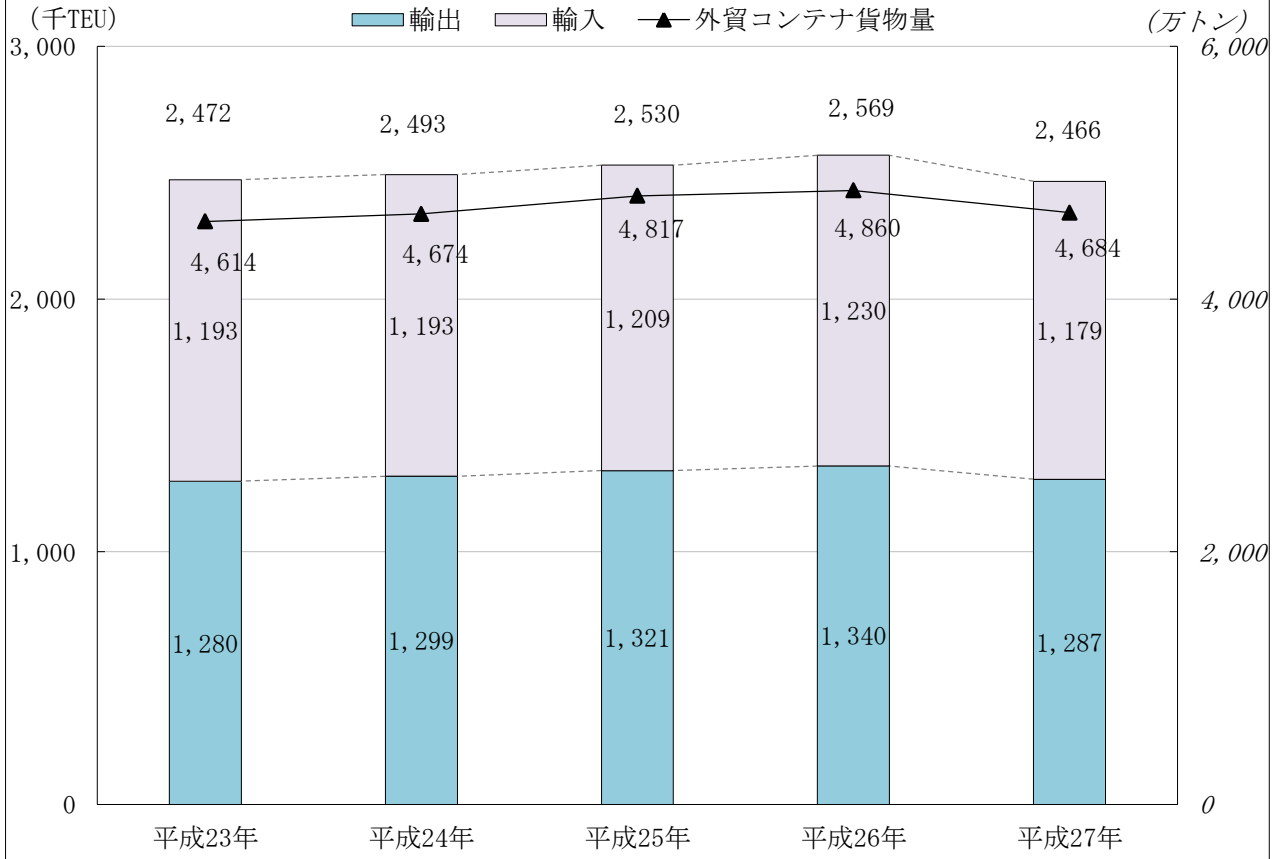
(単位：トン・%)

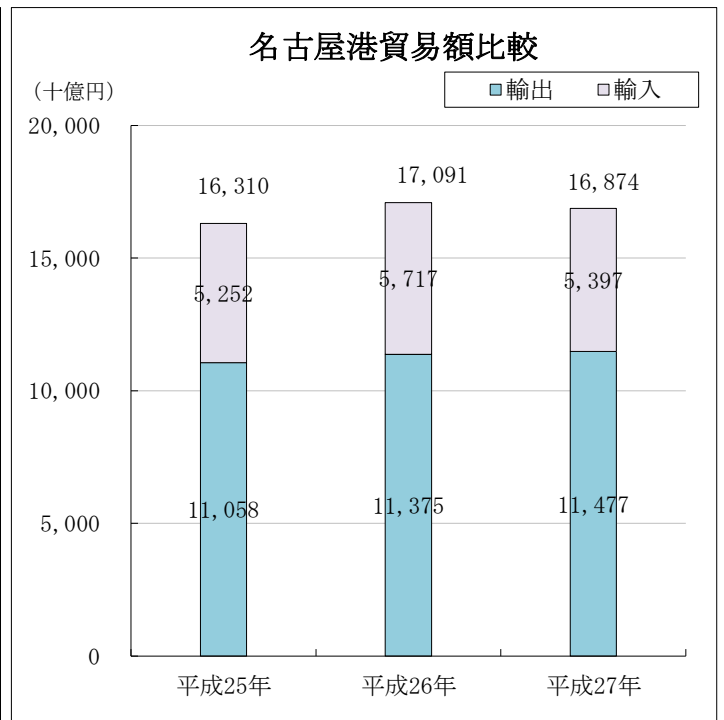
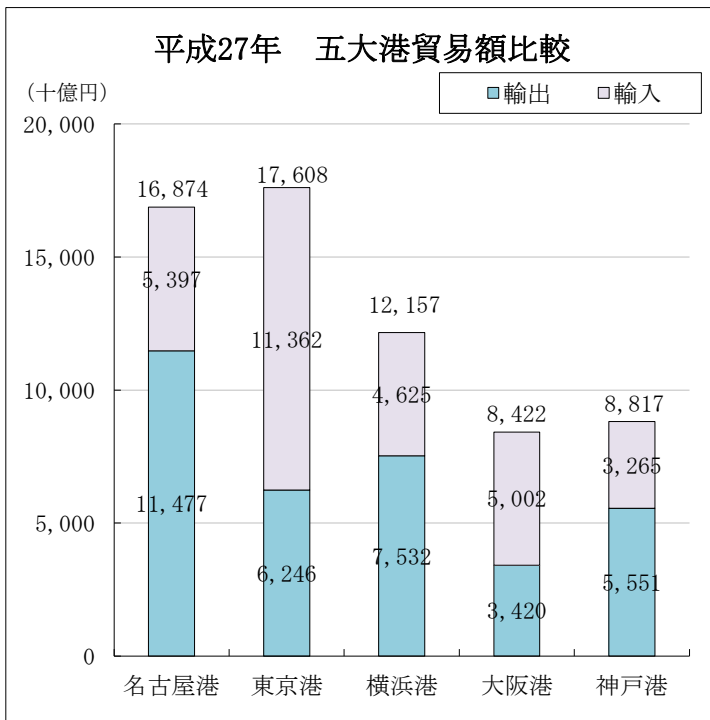
移 出			移 入		
港 名	トン数	前年比	港 名	トン数	前年比
合 計	408,903	95.8%	合 計	243,866	75.0%
横浜	305,543	109.1%	横浜	100,796	84.4%
川崎	61,902	107.8%	東京	79,447	57.4%
東京	33,739	43.6%	神戸	43,938	87.2%
神戸	5,208	424.8%	清水	13,788	139.9%
苫小牧	2,197	69.5%	衣浦	2,940	104.3%
その他	314	4.0%	その他	2,957	70.6%

取扱貨物量比較



外貿コンテナ取扱個数、取扱貨物量比較





財務省資料による

五大港貿易額比較表

平成27年

港名	年	輸出			輸入			合計		
		貿易額 (百万円)	五大港 構成比 (%)	全国 構成比 (%)	貿易額 (百万円)	五大港 構成比 (%)	全国 構成比 (%)	貿易額 (百万円)	五大港 構成比 (%)	全国 構成比 (%)
名古屋港	平成27年	11,476,807	33.5%	15.2%	5,396,760	18.2%	6.9%	16,873,567	26.4%	10.9%
	平成26年	11,374,767	34.1%	15.6%	5,716,500	19.3%	6.7%	17,091,267	27.1%	10.7%
	前年比 (%)	100.9%			94.4%			98.7%		
東京港	平成27年	6,245,805	18.2%	8.3%	11,362,006	38.3%	14.5%	17,607,811	27.6%	11.4%
	平成26年	6,137,426	18.4%	8.4%	11,004,199	37.1%	12.8%	17,141,625	27.2%	10.8%
	前年比 (%)	101.8%			103.3%			102.7%		
横浜港	平成27年	7,532,166	22.0%	10.0%	4,624,889	15.6%	5.9%	12,157,055	19.0%	7.9%
	平成26年	7,117,710	21.3%	9.7%	4,617,227	15.6%	5.4%	11,734,937	18.6%	7.4%
	前年比 (%)	105.8%			100.2%			103.6%		
大阪港	平成27年	3,419,645	10.0%	4.5%	5,001,918	16.9%	6.4%	8,421,563	13.2%	5.5%
	平成26年	3,262,814	9.8%	4.5%	5,147,365	17.4%	6.0%	8,410,179	13.3%	5.3%
	前年比 (%)	104.8%			97.2%			100.1%		
神戸港	平成27年	5,551,296	16.2%	7.3%	3,265,488	11.0%	4.2%	8,816,784	13.8%	5.7%
	平成26年	5,485,777	16.4%	7.5%	3,141,592	10.6%	3.7%	8,627,369	13.7%	5.4%
	前年比 (%)	101.2%			103.9%			102.2%		
五大港計	平成27年	34,225,719	100.0%	45.3%	29,651,061	100.0%	37.8%	63,876,780	100.0%	41.5%
	平成26年	33,378,494	100.0%	45.7%	29,626,883	100.0%	34.5%	63,005,377	100.0%	39.6%
	前年比 (%)	102.5%			100.1%			101.4%		
全国計	平成27年	75,632,239		100.0%	78,467,563		100.0%	154,099,802		100.0%
	平成26年	73,093,028		100.0%	85,909,113		100.0%	159,002,141		100.0%
	前年比 (%)	103.5%			91.3%			96.9%		

財務省資料による

平成27年港湾統計年速報（解説）

1 入港船舶（2 ページ）

- ・ 入港船舶は、隻数、総トン数ともに前年実績を上回った。
- ・ 外航船舶は、コンテナ船、自動車専用船等が増加したが、一般貨物船等が減少し、隻数は前年実績を下回ったが、総トン数は前年実績を上回った。
このうち、外航コンテナ船は、隻数、総トン数ともに前年実績を上回った。
- ・ 内航船舶は、油送船、一般貨物船等が増加し、隻数、総トン数ともに前年実績を上回った。

2 取扱貨物量（2 ページ）

- ・ 総取扱貨物量は1億9,795万トン(同4.7%減)と前年実績を下回った。
- ・ 外貿は、輸出では完成自動車、自動車部品等の減少により、前年比4.3%減となった。輸入では、LNG（液化天然ガス）、鉄鉱石等の減少により、前年比5.9%減となった。外貿全体では、前年比5.2%減となった。内貿は、移入では前年比0.3%増となったが、移出では前年比6.8%減少したため、全体では3.6%減となった。
- ・ 外貿コンテナ個数は前年比4.0%減の247万TEUとなり、内貿も含めたコンテナ個数は前年比3.9%減の263万TEUとなった。

3 外貿貨物（3 ページ）

- 輸出
- ・ 完成自動車は、サウジアラビア、オマーン、クウェート等向けが減少し、前年比163万トン減（5.2%減）となった。
 - ・ 自動車部品は、アメリカ、ロシア、南アフリカ等向けが減少し前年比60万トン減（6.1%減）となった。
 - ・ 産業機械は、アメリカ、タイ、インドネシア等向けが減少し前年比1万トン減（0.5%減）となった。
- 輸入
- ・ LNG（液化天然ガス）は、カタール、ロシア等から減少し、前年比152万トン減（8.1%減）となった。
 - ・ 鉄鉱石は、オーストラリア、カナダ、ブラジル等から減少し、前年比102万トン減（9.0%減）となった。
 - ・ 原油は、アラブ首長国、クウェート等から増加し、前年比5万トン増（0.5%増）となった。

<上位国>

- 輸出
- ・ 中国は、完成自動車、鋼材等の減少により前年比18万トン減（2.9%減）となった。
 - ・ アラブ首長国は、完成自動車等の増加により前年比16万トン増（3.4%増）となった。
 - ・ アメリカは、自動車部品等の減少により前年比42万トン減（9.5%減）となった。

- 輸入
- ・オーストラリアは、鉄鉱石、石炭等の減少により前年比 104 万トン減（7.4%減）となった。
 - ・中国は、衣服・身廻品・はきもの、家具装備品等の減少により前年比 68 万トン減（5.7%減）となった。
 - ・カタールは、LNG（液化天然ガス）等の減少により前年同期比 234 万トン減（23.5%減）となった。

4 内貿貨物（3 ページ）

- 移出
- ・完成自動車は、仙台塩釜、千葉、苫小牧等向けが減少し、前年比 252 万トン減（10.1%減）となった。
 - ・石油製品は、千葉、川崎等向けが増加し、前年比 60 万トン増（23.7%増）となった。
 - ・鉄鋼は、北九州（戸畑）等向けが減少し、前年比 17 万トン減（11.4%減）となった。
- 移入
- ・完成自動車は、水島、仙台塩釜等から減少し、前年比 27 万トン減（1.9%減）となった。
 - ・鋼材は、鹿島/茨城等から減少し、前年比 24 万トン減（4.8%減）となった。
 - ・石油製品は、川崎、水島、四日市等から増加し、前年比 31 万トン増（12.4%増）となった。

5 コンテナ貨物（4 ページ）

外貿コンテナ

- 輸出
- ・自動車部品は、アメリカ、ロシア、南アフリカ等向けが減少し、前年比 59 万トン減（6.1%減）となった。
 - ・産業機械は、台湾、韓国向けが増加し、前年比 7 千トン（0.3%増）となった。
 - ・ゴム製品は、アラブ首長国等向けが減少し、前年比 8 千トン減（0.6%減）となった。

- 輸入
- ・衣服・身廻品・はきものは、ベトナム等から増加したが、中国等から減少し、前年比 20 万トン減（6.8%減）となった。
 - ・自動車部品は、ベトナム等から増加したが、中国、タイ等から減少し、前年比 6 万トン減（2.4%減）となった。

<上位国>

- 輸出
- ・中国は、完成自動車、再利用資材等が減少し、前年比 6 万トン減（1.2%減）となった。
 - ・アメリカは、自動車部品、産業機械等が減少し、前年比 29 万トン減（8.2%減）となった。

- 輸入
- ・中国は、衣服・身廻品・はきもの、家具装備品等が減少し、前年比 51 万トン減（4.6%減）となった。

- ・アメリカは、非金属鉱物、動植物性製造飼肥料等が減少し、前年比 7 万トン減（4.0%減）となった。
- ・タイは、自動車部品等が減少し、前年比 10 万トン減（6.7%減）となった。

内貿コンテナ

- 移出 ・ 自動車部品は、東京、清水向けが減少し、前年比 2 万トン減（5.4%減）となった。
- 移入 ・ 自動車部品は、東京、横浜等からが減少し、前年同期比 4 万トン減（23.7%減）となった。

6 貿易額（6 ページ）

- ・名古屋港の平成 27 年の貿易額は、五大港中、輸出額が第 1 位、輸入額が第 2 位、合計では 16 兆 8,736 億円で第 2 位だった。
- ・貿易黒字額は、6 兆 800 億円で 18 年連続全国 1 位だった。